





プロジェクト発足(2012)経緯

- 2011, 12月 鳥羽市答志島からの SOS (海づくり会議みえ)
- 2012.1月 3県1市 知事会議での三重県知事アピール
- 2012. 1月~3月 愛知、岐阜などで海岸清掃(市民)提案 「ゴミと水を考えるつどい」(1/29 名古屋市) 「森・川・海ひだみの流域シンポジウム」(2/26 岐阜県) 「伊勢湾流域再生フォーラム」(3/3 名古屋市)
- 2012. 4.1 22世紀 奈佐の浜プロジェクト 発足
- 2012. 6.9 第1回 奈佐の浜 海岸清掃 スタート(300人)
- 2012. 9.8 秋の奈佐の浜 海岸清掃(500人) ~現在に至る

2019/12/24

プロジェクト活動(2012~2019)

- 2012. (春、秋で)奈佐の浜、安楽島で海岸清掃(800人)参加
- 2013・(春)岐阜郡上市・長良川(150人)、(秋) 奈佐の浜(300人)2013年より春の「流域エクスカーション」開始 ~ 3県リレーで
- 2014・(春)愛知 渥美半島・西の浜(300人)、
 (秋) 奈佐の浜(300人) 2014年(秋)より「学生交流会」スタート
- 2015. (春)三重美杉 植樹(250人)、(秋) 奈佐の浜(300人)
- 2016. 5.27~28 市民の伊勢・志摩サミット「提言」
- 2016。(春)岐阜揖斐川・徳山ダム(150人)、
 (秋)「全国海ごみサミット2016」 奈佐の浜(海外含 360人)
- •~2019. 8年目 16回で約4,000人が参加

2019/12/24

-



奈佐の浜海岸清掃 2019.秋



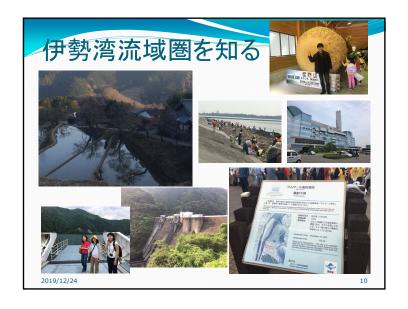
奈佐の浜プロジェクトのポリシー

- ごみを拾うことを「目的」にしない
- 伊勢湾流域全体を「活動場所」とする年2回開催春の流域学習会、秋の奈佐の浜
- ・ 訪れる地域と向合い、きちんと交流する
- ・ 参加者を固定せず、広げていく、外へと繋がっていく
- ・ 世代継承、人材育成の場とする ~「学生交流会」

2019/12/24

7









プロジェクトの成果とは?

ごみを拾い続けるだけでは、何も解決しない

- ・ 流域が繋がっていることの可視化、情報共有、発信
- ・ 新たな繋がりを構築 広域、行政、研究者、学生など ~ 広がりと「新しい公共」の可能性
- ・ 地域の気づき ごみと恵み、営みの重要性、 単なる被害者意識からの脱却

2010/12/24

13











